

9 月号  
VOL. 486

土會茶良



SHIKAI  
2015 NARA

## 表紙のことば

仲秋の名月・采女祭り



采女祭（うねめまつり）とは

奈良市の春日大社の末社で、猿沢池の北西に鎮座する采女神社の例祭で、毎年「仲秋の名月の日」奈良時代に天皇の寵愛を受けた采女（後宮で天皇の給仕をする女官の職名）が、天皇の関心が薄れたことを悲観し、猿沢池の池畔の柳に衣を掛け入水したので、その霊を慰めるために社を建てた。しかし、采女は我が身を投じた池を見るにしのびないと一夜の内に社を後ろ向きにした、と伝えられています。

夕方諸神事後、午後七時 南都楽所の奏する雅楽が流れるなか、花扇をはじめ、稚児や十二単衣の花扇使・ミス采女・ミス奈良を乗せた2隻の管絃船（龍頭・鶴首）が猿沢池に浮かぶ40余りの流し灯籠の間をめぐって池を2周めぐり、最後には花扇を池中に浮かべて采女の霊を鎮め、同時に人々の幸せを祈る 雅やかで見逃せない秋の奈良の風物詩となっています。

—HPより抜粋引用—  
(写真・文 提供 出原 眞)

### 情報・広報委員会

委員長	松尾 憲治		
副委員長	田上 圭吾	折目 貴司	
委員	乾井 哲	水守 寛敏	
	鶴山 治	大倉 克之	
	小松原寛俊	崎山 泰正	
	福西 保夫	福本 保治	
	藤井 靖彦	宮浦 重彦	

# Contents

001 郡山支部  
「大和郡山城下町として  
大切にしたい建物50選」

002 森林技術センター  
「木材の特長と色々な使い方」  
第3回 木材の乾燥について

004 支部報告  
「奈良支部・五條支部 報告会」

006 総務・企画委員会  
「会員増強ワークショップ」経過報告

008 青年委員会  
「おかしのいえづくり」

009 青年委員会  
「奈良の森と木と家のフェスタ  
in 奈良公園登大路園地」

010 檀原支部  
「宮崎支部 建築士会交流会」

012  
「最近の住宅着工状況（近畿エリア）」

013 お知らせ  
「景観デザイン賞部会  
ディベート大会開催のお知らせ」  
「平成27年度 建築士試験日程のご案内」他



## 郡山支部

# 大和郡山城下町として大切にしたい建物50選

## ～前田家住宅聞き取り調査の記録～

奈良県建築士会郡山支部では、歴史ある大和郡山市の現状を知り、美しい町並みと歴史的建造物の保存活動を進めるため、町家の調査を実施しています。今年度より「大和郡山城下町として大切にしたい建物50選」として奈良県建築士会ホームページの郡山支部に掲載を開始し、8月末現在「杉山家住宅」「中村家住宅」「前田家住宅」「杉原家住宅」他の調査記録がご覧いただけます。その中から今回は、「前田家住宅」をご紹介します。



### 【建物概要】

建物名称：前田家住宅

所在地：堺町

当初の用途：呉服屋

現在の用途：住居

建造時期：江戸末期～明治初期

昭和初期に2階を増築

構造規模：木造・切妻2階建

(調査日：平成26年10月5日)



### 【建物現況と周辺状況】

屋根瓦・外装・床・キッチンなどリフォームがなされ、建物維持管理状況は良好。ご祖母様が昭和初期に御嫁入された際に、2階を増築。1階のシャッター一部は、呉服屋店舗として、一時はガレージとして使われたとのこと。堺町に残っている端正な町家として、通りに昔の面影を残す貴重な建物となっています。

### 【歴史的特徴と建築的特徴】

堺町は天正13年(1585)に豊臣秀長が入部した際に、和泉の堺から商人らを集めてつくらせた町。前田家住宅も商家の町家であり、道路側から土間、接客の間、座敷、縁側、中庭の構成となっています。接客の間には、昭和40年代までは電話室もあり、ジブリ「となりのトトロ」の大きな農家で五月が電話を借りるシーンを想起させる感じだったとのこと。座敷の天井は他室よりも高く、二重廻縁で長押も本格的。一間の床の間と違い棚や海老束のある床脇などもある立派な設えとなっており、お客様をもてなす商家の一端がうかがえます。

### 【建物の歴史・暮らしの様子・所有者の思い】

前田様は進学・就職のためしばらくは実家を離れていたが、2003年に戻られました。壊してしまうのではなく、活用できる方法を考えたいとのこと。ただし、賃貸するにしてもメンテナンスを含めたキャッシュフローを黒字化することも必要で、制度的なバックアップがないものかとも思われている。堺町という旧城下町の景観を損なうことなく、有効活用できる様、今後の用途を検討中ようです。

(記・郡山支部 郡山城下町建物探訪部会)





# 木材の特長と色々な使い方

## 第3回 木材の乾燥について

奈良県森林技術センター 寺西康浩

### 1. はじめに

木材加工を行うにあたり、乾燥は不可欠となっている工程です。乾燥していない木材を製品として使用すると、さまざまなトラブルが懸念されます。今回は、木材乾燥の必要性、幾つかの乾燥方法および奈良県森林技術センターでの乾燥技術の向上に関する取り組みについて紹介します。

### 2. 木材中の水分

その前に、木材中に含まれる水分量について話をしたいと思います。木材中に含まれる水分の割合は、含水率で表されます。原木から製材された直後の木材には多量の水分が含まれており、このときの含水率を生材含水率といいます。国産針葉樹および広葉樹の生材含水率の一例を表1に示します。建築用製材として広く用いられる針葉樹材の場合、辺材の生材含水率は心材のそれに比べて高く、すべて樹種で100%を超える値です。不思議に感じられるかもしれませんが、これは、木材の含水率が、木材中に含まれる水分質量の、水分を含まない木材質量に対する比率（乾量基準）で表されるためです。

なお、表1では、スギ心材の生材含水率が55.0%と示されていますが、これはあくまでも一例で、実際には40～160%程度の広範囲にばらつくことが知られています。その他の多くの針葉樹では、心材の生材含水率のばらつきは小さく、スギ材は例外的であるともいえます。

表1 国産材の生材含水率例

樹種	針葉樹		広葉樹		
	含水率(%)		含水率(%)		
	辺材	心材	辺材	心材	
スギ	159.2	55.0	セン	101.5	77.1
ヒノキ	153.3	33.5	ミズナラ	78.9	71.5
カラマツ	145.0	37.4	コナラ	74.6	67.2
サワラ	154.5	38.3	ヤマナラシ	103.7	94.5
ネズコ	228.9	56.9	シラカバ	95.0	89.7
モミ	162.6	89.4	マカバ	46.9	65.2
トドマツ	211.9	76.1	ミズメ	60.7	54.7
エゾマツ	169.1	40.6	ホオノキ	93.0	52.2
			カツラ	122.7	76.0
			シナノキ	91.9	108.3
			トチノキ	123.2	166.1

出展：日本木材加工技術協会平成26年度木材乾燥講習会テキスト

木材の乾燥を行うにあたり、対象となる木材の生材含水率を知ることが、乾燥のスタート地点を知ることになります。それでは、乾燥のゴール地点とはどのような水分量なのでしょう。生材状態（生材含水率）の木材を大気中に置いておくと、次第に水分を失って、やがて一定の含水率となります。この段階を気乾状態といいます。このときの含水率は、日本の場合、樹種や木材のサイズに関わらず、

平均で約15%です。気乾状態の木材は大気中の温湿度と平衡しており、木材を乾燥させる際のゴール地点の一つとして位置づけられます。構造用製材の場合、含水率15%を目標に乾燥が行われます。ただし、木材を使用する環境によっては、ゴール地点を多少修正して考える必要もあります。例えば、空調が整えられた室内の温湿度は大気よりも常に乾いた環境です。そのような場所で木材を使用する場合、水分状態を周囲の温湿度と平衡させるためには、含水率を15%よりも低い値に調節する必要があります。内装用材や家具用材では、含水率8～10%を目標に乾燥が行われることがあります。

### 3. 木材乾燥の必要性

前置きが長くなりましたが、いよいよ本題に入ります。木材加工にとって乾燥が大切である理由は次のとおりです。

#### (1) 木材の狂いを抑制する

木材は、含水率が繊維飽和点（約30%）よりも低くなると、含水率の増減に応じて狂い（膨潤、収縮、変形など）が見られます。例えば、木材の含水率が15%で平衡する使用環境に、含水率30%の製品を使用した場合、製品の含水率は次第に低下し、これに伴う比較的大きな収縮または変形が見られます。あらかじめ乾燥を行い、使用環境に適した含水率にしておくことで狂いを最小限に抑えることができます。

#### (2) 生物劣化の軽減

木材は含水率が高いままで置いておくとカビがはえたり腐ったりします。これを防ぐためには、含水率を20%以下にすることが重要です。

#### (3) 強度性能の向上

木材は繊維飽和点を境に強度性能も変化します。繊維飽和点を下回ると強度性能は向上します。乾燥材は強度の面からも未乾燥材に比べて有利です。

#### (4) 適正な接着力が得られる

一般に、接着力は未乾燥材よりも乾燥材のほうが大きくなります。適正な含水率でないと、十分な接着力が得られません。

#### (5) その他

このほか、乾燥することによって加工性や塗装性が向上する、重量が減って輸送が容易になるなどの効果が得られます。

### 4. 乾燥方法

前項で示した木材乾燥の必要性を背景に、製材工場では乾燥された木材を生産しています。木材の乾燥方法は天然

乾燥と人工乾燥に大別されます。ここでは、それぞれの特徴について紹介します。

### (1) 天然乾燥

天然乾燥は、図1のように木材を積み重ねて自然に乾燥する方法です。木材本来の色艶が損なわれないことが最大の長所です。

一方で、乾燥の進み方は気象条件に左右され、一般に長い乾燥期間が必要です。また、乾燥によって到達する含水率は約15%が限度で、一般には20%程度までと考えられています。内装用材、家具用材、接着加工を行う材料などは、さらに含水率を低下させる必要があるため、仕上げの人工乾燥が求められます。

### (2) 人工乾燥



図1 天然乾燥の様子

人工乾燥は人為的に木材にエネルギーを与えて乾燥する方法です。図2のような乾燥機に木材を収容し、機内の温度、湿度、風量を調節して乾燥を進めます。乾燥機の多くは、ボイラから発生した蒸気を熱源とし、この熱源を機内に導入して温湿度を調節する方式が採用されています。このような乾燥機を蒸気式乾燥機と呼んでいます。また、乾燥機内には、数基の内部循環ファンが取り付けられています。これを作動させることによって機内の温湿度を均一とし、乾燥ムラを防ぎます。人工乾燥は、比較的短時間で乾燥を行うことができ、製品を計画的に生産できることが最大の長所です。

一方で、乾燥機の操作を誤ると、乾かしすぎの木材や、乾燥が不十分な木材など、所定の品質が付与されていない製品が生産されてしまう恐れがあります。そのため、乾燥機が導入されている製材工場では人工乾燥技術に関する知識を習得した資格者や技術講習会修了者などを配置し、高いレベルでの品質管理が行われています。



図2 蒸気式乾燥機の外観

## 5. 乾燥技術の向上に関する取り組み

奈良県森林技術センターでは、これまでに、乾燥技術の向上に関するさまざまな取り組みを行ってきました。得られた成果は、随時、製材工場へ発信するよう努めています。ここでは、最近の取り組みを紹介します。

近年、構造用製材に対する人工乾燥技術は飛躍的な発展を遂げ、背割りを施さない心持ち材であっても材の表面に割れが生じることなく乾燥が行える方法が全国的に普及しています。この方法は、温度100℃以上の条件で一定時間乾燥を進めるもので高温乾燥と呼ばれています。一方で、高温乾燥は、操作を誤ると「内部割れ」と呼ばれる表面からは確認できない割れを発生させてしまうことがあります。この内部割れ、あるいは高温乾燥を行うこと自体による製品の強度低下が懸念されていました。そこで当センターでは、石川県農林総合研究センター林業試験場をはじめとする全国13の公設試験研究機関と連携し、柱材について、内部割れの発生が少なく、かつ、強度低下が少ない乾燥条件を検討しました。その結果、国内主要6樹種（スギ、ヒノキ、カラマツ、アカマツ、トドマツおよびヒバ）に対する乾燥条件を明らかにすることができました。また、それらの条件で乾燥した柱材について強度試験を実施したところ、強度の低下はほとんどなく、実用上問題のないことを確認しました。これらの成果を広く発信するため、マニュアルを作成しました。本マニュアルについては当センターのホームページ (<http://www.nararinshi.pref.nara.jp/tokusyuu.html>) から無償でダウンロードできます。乾燥材に関するより詳しい情報収集にお役立て頂ければ幸いです。



## 支部報告会

### ■奈良支部

去る、平成27年6月16日（火）近鉄奈良駅前 月日亭におきまして、27年度建築士会奈良支部の報告会をささやかですが、開催できましたこと、加えて、さかのぼること、5月15日（金）の韓国慶州市建築士協会日本訪問について報告いたします。先ず、5月15日に韓国慶州市建築士協会日本訪問があり、慶州市建築士協会の皆様他17名を招いて、奈良の名所、奈良市役所への表敬訪問、夕方には、百楽荘にて晩餐会も行われました。実際のところ我々は、秋口であろうと想定していましたが、先方からの急な申し出で5月となり、準備期間も短かったのですが、名所訪問・表敬訪問・晩餐会と滞りなく行うことができ、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。その折の写真を下に紹介させていただき、簡単ですが、韓国慶州市建築士協会日本訪問の報告とさせていただきます。



韓国慶州市建築士協会 日本訪問  
(奈良市役所表敬訪問時の写真です)



続いて、27年度奈良県建築士会奈良支部報告会ですが、先の慶州市訪問と時期が重なったこと等により、毎年足を運んで下さる来賓、賛助会の皆様のご理解も得て、今年は、規模を縮小して時期をずらせて、開催することにいたしました。とはいえ、年度最初の節目の会議ですので、事業方針を掲げて奈良支部上げて勤めていくことを確認しました。大きな項目として

- ① 本部の事業計画に積極的に参画協力する。
- ② 支部組織強化のため青壮年層を積極的に支援し、会員増強を図る。
- ③ 総務・教育事業委員会活動を推進する。
- ④ 青年・女性委員会活動を推進する。
- ⑤ 国際・地域貢献・情報委員会活動を推進する。

という5項目から構成した事業方針で、県内では一番会員数が多い支部として恥じない事業を行って行こうということになりました。

(記・奈良副支部長 中元綱一)

## ■五條支部

総会及び研修会

5月23日(土)～5月24日(日)

### 支部役員

相談役	田鍋 誠一	内原 一誠	武田 正文
	本間 照義	出野 光男	
支部長	辻 元二		
副支部長	岡本 光弘	坂田 至伸	
会計	佐古 誠		
監事	東 康朝	浦東 保	
理事	藤井 靖彦	大和 良樹	田中 卓也
	田中 信道	洞 尚樹	



去る5月23日、24日の2日間、天ノ橋立及び伊根への4年に一度の研修会に参加させていただきました。

行程としましては、23日早朝五條を出発し、途中出石で昼食をとり、夕方城崎マリワールドで、イルカのショーを見学し、日和山温泉(城崎)で、事業及び決算報告並びに今年度の事業・予算案も滞りなく承認され、その後ホテルに於いて懇親会がおこなわれました。

翌日、西国三十三番の二十八番札所の成相寺へ参拝への道中で天ノ橋立展望を行い、その後、丹後半島の北東部に位置し、舟屋で知られる(重要伝統的建造物群保存地区)伊根町を見学及び、伊根湾めぐりを行いました。

(記・五條支部 藤井靖彦)





# 「会員増強ワークショップ」経過報告

予てからの会員減少が続く中、理事会より「総務委員会で対策を！」の要請を受け、会員からの意見を拾い上げるべくワークショップを開く事になりました。

近畿や連合会・地域活動で幅広く活躍されている中尾副会長に新方式のワークショップを指導いただき、第1回を3月、第2回を5月に開催しました。参加者は士会で現在活躍されている委員長、副委員長、支部長、役員、旧役員経験者の皆様にお集まり頂き夫々の視点からアイデアを出して頂きました。

少数意見でも第一義に挙げられた意見を掘り下げ全員で其の重要性、可能性を見出すと云う画期的なワークショップとなりました。

士会の入会意義、若い人へのアピール方法、入会のしやすさ、薦めやすさ、女性会員の子育て時期の優遇措置、高齢者会員の生きがい等様々なアイデアが提起され(各班

4～5名で提案された内容)チームリーダーが発表し共有化しました。

(※1 会員増強ワークショップ第2回 参照)

第2回は提起された内容をグループ分けし早急にできる事、中長期、長期でできる事に分類し何故早期実現、必ず実現しなければならないのか?

提案者に発表してもらう方式で類別をしました。

この過程では、全員が其の重要性を認識する事ができました。これは、参加された役員一同に共通の問題意識が芽生え、夫々のなすべき事が明確になった事と思います。この、結果を踏まえて、総務委員会で理事会への提案書を作成し会長会議へ報告いたしました。

できる事から改革を押し進めようでは在りませんか!

(記・総務企画委員会 委員長 鈴木猛夫)

会員増強ワークショップ第2回 開催日時 平成25年6月27日(土)13:00～21:00 開催場所 練馬本会館1階 参加人数 6名  
 参加人員 鈴木猛夫(グループリーダー) 森田真由(事務局) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名)  
 参加人員 鈴木猛夫(グループリーダー) 森田真由(事務局) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名) 高橋あゆみ(4名)

項目	キーワード	提案内容	短期(1～3年)	中期(3～5年)	長期(5～10年)	合計点	順位
入会に関するアイデア	学生へのアプローチ	1 学生向けに楽な条件の授業をこなす者になる					
		2 学生が興味を持つイベントの開発					
		3 困難相談(行政・建築設計・環境整備など)企業選定のポイント(専門的な知識や経験)					
		4 企業家を知り(経営者)の信頼関係(成功体験)を伝える(成功体験を伝える)					
		5 学生 卒業後のサポート体制					
		6 若手経営者としての卒業後サポート体制(卒業後のサポート体制)					
		7 若手経営者としての卒業後サポート体制(卒業後のサポート体制)					
		8 若手経営者としての卒業後サポート体制(卒業後のサポート体制)					
		9 若手経営者としての卒業後サポート体制(卒業後のサポート体制)					
		10 若手経営者としての卒業後サポート体制(卒業後のサポート体制)					
講習会	定期講習会の工夫	11 定期講習会の実施数を増やす					
		12 定期講習会参加者未出席に導入する					
		13 定期講習会の参加者未出席に導入する(出席率を上げる)					
		14 参加者未出席に導入する(出席率を上げる)					
		15 参加者未出席に導入する(出席率を上げる)					
		16 参加者未出席に導入する(出席率を上げる)					
		17 参加者未出席に導入する(出席率を上げる)					
		18 参加者未出席に導入する(出席率を上げる)					
		19 受講料のキャッシュバック					
		20 受講料が参加しやすくなるように講習会を開催する(受講料を減らす)					
収益事業	事業化	21 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		22 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		23 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		24 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		25 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		26 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		27 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		28 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		29 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
		30 職歴と経験を活かしてサービスを提供する(職歴を活かしてサービスを提供する)					
情報・広報の充実	情報誌の充実	31 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		32 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		33 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		34 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		35 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		36 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		37 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		38 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		39 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
		40 フォトブックやアルバムなどの制作(フォトブックやアルバムなどの制作)					
多様な事業	工夫	41 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		42 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		43 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		44 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		45 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		46 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		47 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		48 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		49 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
		50 多様な事業の開催(多様な事業の開催)					
交流	全国大会	51 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		52 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		53 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		54 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		55 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		56 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		57 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		58 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		59 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
		60 全国大会に参加する(全国大会に参加する)					
会員	会員の育成・工夫	61 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		62 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		63 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		64 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		65 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		66 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		67 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		68 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		69 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
		70 会員の育成・工夫(会員の育成・工夫)					
その他	人口減少	71 人口減少対策(人口減少対策)					
		72 人口減少対策(人口減少対策)					
		73 人口減少対策(人口減少対策)					
		74 人口減少対策(人口減少対策)					
		75 人口減少対策(人口減少対策)					
		76 人口減少対策(人口減少対策)					
		77 人口減少対策(人口減少対策)					
		78 人口減少対策(人口減少対策)					
		79 人口減少対策(人口減少対策)					
		80 人口減少対策(人口減少対策)					

第2回会員増強ワークショップ 集計写真(次ページに詳細表記)

## ※1 会員増強ワークショップ第2回

開催日時:平成27年5月27日(水)18:30~20:30 開催場所:建築士会館1階 参加者数26名 +2名(進行役、事務局長)

※記入方法;ノミナルグループプロセス(ステージ1;各自重要な事項から5点、4点、3点、2点、1点と選択し、その理由を詳しく記入⇒ステージ2;一人だけ  
高得点をつけて事項を発表していただき、その理由を聞く)⇒十分他者の考えを学習したうえで再度実現可能な取り組みを投票し、順位づける。

着目	キーワード	提案内容	短期 0~3年	中期 3~5年	長期 5~10年	合計点	順位	
入会に向けたアプローチ	学生へのアプローチ	1 学生向けに実際の業務の授業をおこなう(青田貴い)						
		2 学生が興味を持つイベントの開催	2			2		
		3 就職相談(行政・建築設計・現場監督など企業選定のポイント)例)インターンシップの相談、協力、建築士会に興味を持ってもらう。	5		3	8		
		4 卒業研究相談(研究題材の情報提供・つなぎ役)、会社に入る前に接点を持つことが重要	5	3		8		
		5 学生・準会員のネット管理						
	資格がない人へのアプローチ	6 有資格者でないものを準会員に取り込む。 行政(施工管理技士)を取り込む。	6			6		
		7 建築士試験講習会を復活させる	5			5		
		8 当面、立場を利用した入会を増やす						
		二級合格者へのアプローチ	9 資格試験合格者祝賀会 授与式をプラスする。 アピールする機会をつくる。	12	6		18	6位
		10 入会の魅力あるアピール	12			12	8位	
		11 二級合格者をより確実に入会していただく。 真っ白なメンバーに声掛けし入会しやすいように。例)入会金免除。	23	7		30	3位	
		12 二級合格者にアンケートを実施し、入会する動機を引き出す工夫をする。						
講習会	定期講習会の工夫	15 定期講習会の実施数を増やす						
	16 定期講習会参加者を当会に導入する							
	17 定期講習会の金額を他社と同額に!(日連の方が安い。価格競争に負けている。)	5	5		10	12位		
	18 魅力ある講師をお願いする。必要性・話題性の高い講習会を充実させる。異業種の講師が良い。	14	25		39	2位		
	19 受講料のキャッシュバック	4			4			
	20 その他講習会の工夫	20 サラリーマンが参加しやすい時間に講習会を開催する。(環境・境遇に合わせた時間とする。)	1			1		
収益事業	26 観光産業と建築産業をパッケージ化する(空き町家利活用) オリジナル性が大切			7	4	11	10位	
	27 地域型住宅ブランド化事業などに積極的に参画する							
	28 書籍等は士会で買入する	3			3			
情報・広報の充実	33 機関紙をHPでする(賛否あり)	フェイスブック・ツイッターなどのSNSの活用。手早く多くの人に情報提供。見学会等会員外にも発信。	4			4		
	34 会報誌の充実	建築士会員以外の記事もOK。建築に留まらず、様々なジャンルからの記事を士会に投稿。	4			4		
	35 建築士会員の経験談・失敗談を掲載する。体験談等を気軽に聞きたい。知識を得たい。	3	4		7			
	36 HPの充実	多くの会員の顔が見えるHP 例)仕事のつながりなど横のつながりができる。	23	1	1	25	4位	
	37 検索しやすいHP							
	38 情報提供の充実	4	3		7			
	39 パンフレット	入会ツールの充実(例:パンフレットの作成)	6			6		
多様な事業	44 工夫	44 曜日別イベントの開催						
	45 タイプ別(新人~ベテランまで)勉強会の開催	3	7	1	11	10位		
	46 オリジナル性	建築士会にしかできない事業(例:茶室の本、中々入れない場所での見学会等メリットを打ち出す)	6	2		8		
	47 オリジナル・特別な事業(ヘリテージマネージャー等)を紹介する	5	4		9			
	48 自主性	会員からの自主的な企画を仕組める(事業参画の機会提供、新入会員に参加企画していただく。)	4			4		
	49 支部活動	理事の支部活動の充実。知人(支部活動が出発点。支部の方々の周囲)から声掛けする。地域密着型。	5	10		15	7位	
	50 高齢者向け	高齢者に優しい事業を計画する						
51 支部活動の充実(地元密着、ニーズに対応した事業を考える)	22	3		25	4位			
交流	55 全国大会	全国大会に多く参加する。人脈が増える。交流が生まれる。						
	56 ビジネス交流	ビジネスにつながる交流会をつくる						
	57 グルメなど楽しい会を企画する							
	58 多世代交流	若年層と本会役員との交流。若年層の考え方を知る。たまり場をつくる。	1			1		
	59 サロンの場(気軽に立ち寄れる居場所)をつくる			2		2		
	60 賛助会員との交流。いろんな知識を広めたい。	5			5			
	61 賛助交歓会にいろいろな人が参加できるようにする							
	62 人脈を増やす(結果、仕事=実務につながる)	4			4			
	63 総会以外にも会員全員が集う場をつくる。現会員の顔が見えるようにコミュニケーションの場をつくる。	3			3			
	64 委員会事業以外のサロンの集まり							
	65 行政との交流	行政マンの勧誘が大切						
	66 行政と建築士の合同見学会を開催する	1	2		3			
67 同業・異業種団体との協働事業(見学会等横の広がり)	10	2		12	8位			
会費	71 会費の見直し・工夫	71 会費が高いという感覚⇒会費を月割りにする						
	72 新入会員の入会費を免除する。まずは体験=未知な世界にお試しをしてもらう。入り口を低くする。	48	6		54	1位		
	73 紹介者にキャッシュバックする。まずは入会。	2			2			
	74 同じ会社の社員が入会する場合、人数が増えるほど割引する。多くの人を抱える企業に増員協力をしていただく。	9			9			
	75 育児期間中の女性会員は会費減額とする。行きたいが行きにくい会員は減額してあげる。	5			5			
その他	81 人口減少	増強ばかりでなく、現実をとらえ、緩やかな減少対策を考える。たまった会費を考慮する方策。		1	5	6		
	82 絶対加入の制度づくり				1	1		

## 青年委員会

# 「お菓しのいえづくり」を開催しました！

5月24日（日）大和高田市にあるマンションの子供会にて「お菓しのいえづくり」が開催されました。



前回の開催で好評であったこの事業は、様々なお菓子を元に、子供たちが独自の創造性でオリジナルの小さな家の模型をつくることにより、保護者の方や他のお友達とのコミュニケーションはもちろん、我々建築士会の活動を参加者の方に広く知っていただくことが目的です。

今回は、大和高田市内のとあるマンションの子供会主催者の方が、以前から私たちが配っていました青年委員会の活動を紹介するリーフレットをご覧になられたことがきっかけとなり、興味をお持ちになられたことからお声掛けいただき、子供会での開催が実現しました。

当日の会場には小学生低学年の子供たちや親御さん20数名の方が来られました。作業前にはしっかりと手洗い、アルコール消毒をしていただき、衛生面には十分配慮しました。

今回の家づくりは「3匹の子オオカミ」というオリジナルの物語を用意しました。お面を被った青年メンバー扮する3兄弟の子オオカミが、自分たちのお母さんの「お菓子の家に住みたい」という夢を叶えてあげるために、会場の子供たちに一緒に考えてもらうというもので、スクリーン前面の青年メンバーの熱演に会場は笑いの渦に包みこまれました。



会場が和んだ後は1時間半という時間内で、早速子供たちに家を作り始めていただきました。大きさは、25cmの紙のお皿に収まる程度であり、ビスケットを利用して壁や屋根を作って家の形を形成し、そこに装飾を施すという流れであり、接合部は短時間で凝固するチョコレートペンを使用しました。子供たちは素晴らしい集中力と発想力で瞬間に作り上げていき、1時間を過ぎた頃にはほとんどの子供たちが完成していました。中には、ビスケットをうまく使って3階建てや長屋を作ったり、豪華な門を前面に付けたりする子供たちも見受けられ、子供たちの発想力には改めて驚かされました。



最後は完成したお家を手にとって、みんなで記念撮影をしました。

今回の事業は設営までの準備期間が非常に短かったのにもかかわらず、多くの青年メンバーのサポートのおかげで、前回同様、満足していただける内容になったと思います。また、このように一般の方から直接オファーをいただいたということは、日頃の建築士会のPR活動の成果が実を結んだ結果だと身にしみて感じております。

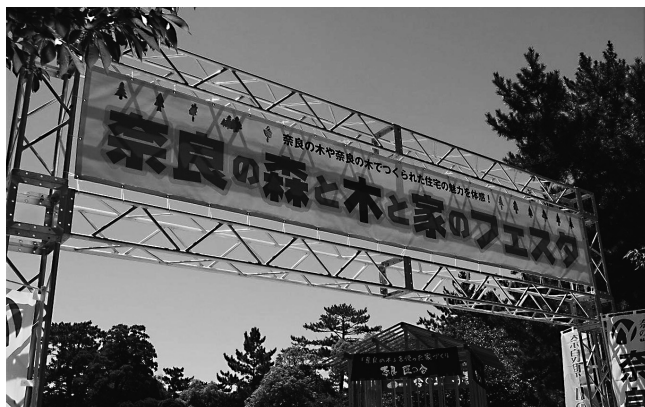
今後も引き続き、建築士会の存在を広く知っていただくための努力を継続していきたいと思っております。建築士会とはどのような団体でどんな活動をしているのか、これをより一層明確に表現していくことが大きな課題です。今回はお菓子の家づくりというツールでしたが、今後も様々なコミュニケーションツールを増やして、一般の方と我々建築士会とのつながりを持っていただく機会を増やしていき、建築士というものをもっと身近に感じていただくことが大切だと考えます。

（記・青年委員会 井久保政嗣）



## 「奈良の森と木と家のフェスタ in 奈良公園登大路園地」

去る7月19日（日）～20日（月）に奈良公園登大路園地内で奈良の森と木と家のフェスタが開催されました。



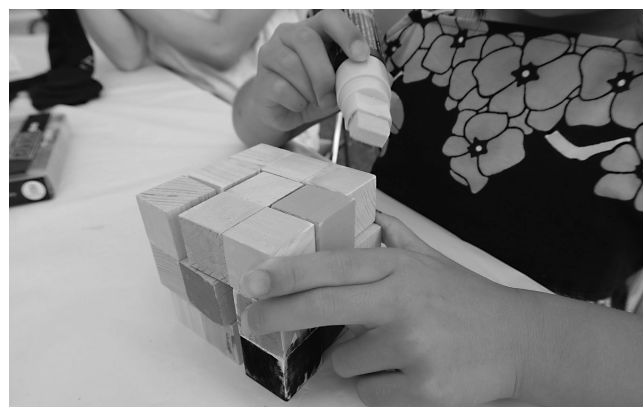
主催の「奈良の木」マーケティング協議会とは3年ほど前より橿原イオンモールにて毎年冬にフェスタを行っていましたが、今年は初めて真夏の屋外でフェスタが開催されることになりました。



われわれ建築士会青年委員会はフェスタの中で1ブースを担当し、木のパズルの組み立て体験や建築士会の活動紹介パネルなど継続して導入しているツールの他に、木のパズルの工作コーナーも設けました。子どもたちが作ったパズルに自由に色を塗るなどして楽しんでいただきました。



当日は台風一過のすがすがしい天気ですスタートしましたが、そんな気持ちでいたのは束の間で、すぐにうだるような暑さでスタッフ全員が滝のような汗を流しながら、子どもさんや親御さんに木のパズルの説明や建築士会の活動などを聞いていただきました。



また、フェスタメインステージで各ブースの代表がそれぞれの団体が奈良県内でどのような活動や地域貢献をしているかのPRタイムもあり、我々建築士会青年委員会も力いっぱい建築士のPRができたのではないかと思います。



奈良公園という普段ではあまり使うことができない特別な会場で、会場周辺は海外からの方が多く住まわれている土地柄でもあり、お客様の4分の1くらいは外国の方でスタッフはそれほど堪能でない英語を片言で話しながら、木のパズルの説明に悪戦苦闘していました。

今回の事業は冬にも奈良の森と木と家のフェスタが行われるので、今回発表できなかった活動報告や新たなツールを使い一般の消費者の方に建築士の活動や職能を知っていただく入口となれるように、建築士会青年委員会全員で邁進していきます。

（記・青年委員会 藤山昭生）



檀原支部

## 宮崎支部 建築士会交流会

宮崎支部視察団報告

7月10日～11日、台風10号、11号が接近している中、奈良県建築士会檀原支部は中上団長、岡田副団長以下総勢11名で、宮崎県建築士会宮崎支部を訪問しました。

宮崎市は神武天皇が東征以前に宮を営んだ地で、檀原市とは昭和41年から姉妹都市提携にあり、平成21年からは檀原支部・宮崎支部との交流が始まり、今回は宮崎県の文化に触れることと、来る平成28年の檀原支部30周年記念大会に向けての表敬訪問であります。

朝7時15分、近鉄八木駅前をバスで出発し、伊丹空港からANA508便で宮崎空港に約1時間で到着、ロビーでは宮崎支部野田支部長以下副支部長、委員長等の歓迎を受けました。

空港からは西尾親睦委員長の案内でマイクロバスによる研修の開始です。野田支部長から「宮崎を満喫して下さい。」と挨拶があり、前支部長の宮崎県建築士会松竹会長及び前々支部長の岩浦氏からも歓迎の挨拶を受け、岡田支部長、中上団長から今回訪問の主旨を含んだ挨拶をしました。

バスは大荒れの日南海岸を通過して、西都市の西都原考古学博物館へ、道路沿いでは早くも稲穂がでた田があり、2期作ができる暖かい気候の地域であることがわかります。

西都原考古学博物館は、平成16年に開館、RC造4階建て（地下1階地上3階）延べ床面積6,678.63㎡で、正面の姿は古墳入口を感じさせます。



この博物館のある西都原古墳群は、東西約2.6km南北約4.2km、標高60～70mの洪積世台地で、3世紀末～7世紀前半に築造されたと推定される311基の様々な古墳が点在、昭和27年に国の特別史跡に指定、昭和40年からは全国第1号の「風土記の丘」として整備事業を実施しています。展示室館内には手に触れられる出土品が多くあり、旧石器時代の石器や尖頭器、歴史を6,000年以前に遡ることになった縄文時代の壺形土器、弥生時代の玉・国壁、古墳時代の舟形埴輪、石室、埋葬された剣、出土後に磨いた剣（現在では出土品は現状維持）、そして埋葬者（人骨）の収納庫等、ガイドさんから丁寧な説明を受けました。

昼食は博物館の3階で「ランチDe古代」、内容は古代米（赤米）と、野菜・肉・すいとんが入ったお汁、キャベツサラダとブルーベリーヨーグルトで、素朴な味でした。次は高鍋町のまちづくり研修です。

高鍋町は宮崎県の中央沿岸部に位置し、面積約44km<sup>2</sup>、人口約

2万人の城下町の名残を残した町です。役場の研修室で、「景観まちづくり支援計画」等について、高鍋支部の坂本、那須両氏より説明を頂きました。

H21年、景観行政団体への移行を契機に「まちづくりについて民間を巻き込んでどうすすめていくか」建築士会に相談があり、以降建築士会が行政と連携を取りながら「町再生ワークショップ」を6か所で、また景観形成支援事業の助成を受け「高鍋駅ワークショップ」を開催、地元住民の景観への関心を高め、徐々に改修工事が進んでいるようです。まちあるきでは中町名店街・本町1番街・立花商店街を歩き、改修された施設を見学することが出来ました。

改修内容は当県と同様に、看板建築の原型への改修、空き家の利活用です。H26年度より「高鍋町観光サイン計画」に取り組み、案内看板サンプルを設置、H27年度から総合的なサイン事業をすすめていくようで、道路等には建築士会がデザインしたサイン看板がありました。本町1番街には「百年の孤独」で有名な黒木本店があり、社長も記念写真に入ってくれました。



本日の研修会は夜の部を残すだけとなりました。ホテルは県立病院の前、近くには宮崎県一の「ニシタチ繁華街」がありません。宮崎支部で準備頂いた「しゃちんぼう」で懇親会です。当方11名、宮崎支部16名で座敷席は一杯になりました。



西尾親睦委員長の司会により、宮崎支部長、中上団長の挨拶、続いて岡田支部長より檀原支部活動について詳しく説明がなされ、来年11月の30周年には是非とも来県頂く事を約束しました。

全員の自己紹介を済ませ、中上団長の乾杯で懇親会が始まりました。

メニューは地元の料理・飲物が振る舞われ、ぞうりエビ、鳥南蛮、地鳥焼鳥、レタス巻き等々、焼酎は黒木本店の中々、雲

海酒造の木挽等々、宮崎県を代表する焼酎を頂き意見交換もす  
すみたいへん有意義であったと思います。一次会は中上団長の  
一本締めでお開きとなり、次は二次会へと自然の流れで時は過  
ぎました。

7月11日は朝から雨ですが、宮崎県庁へとバスを走らせます。

宮崎県庁は昭和7年に建設され、九州では唯一の戦前から残る県  
庁舎で、全国で4番目に古いと言われ、昭和初期から戦禍をく  
ぐり抜けて現在も現役です。

設計者：置塩章、施工者：大  
林組、外壁にバットレス状の柱  
型を並べた近世ゴシック様式  
の特徴があります。玄関ロビー  
の階段は県内で採掘された自然石  
が使用され、手摺部分には化石  
が見つかりました。ロビーから奥は土曜日のため立ち入りが制  
限されていました。県庁を早々に出発して、綾町の自然蔵見学  
館へ向います。



綾町にある綾自然蔵見学館はH26年11月にオープンした雲海  
酒造の工場で、隣接して酒泉の社もあります。綾町は日本最大  
規模(2,000ha)の照葉樹林を有し、名水100選にも選ばれた豊  
かな環境で酒造りができることを多目的ホールの映像で説明を  
受けました。残念ながら工場見学は撮影禁止でしたが、見学通  
路はヨロイ張り腰板、飾り格子が昔の雰囲気を出しています。  
外部にはステンレス製の1,000石タンクが並んでいました。今  
工場は休みで、8月～11月が酒造りの季節となります。

見学コースは酒の製造工程順に進みます、先ず芋(黄金千貫)  
の洗浄、腐り等の発見や蒸し方を均一にするための手選別から  
蒸米の洗浄とすすみ、麴室前には酒造りに重要な順番として、  
「一麴、二酛(酒母)三造り(もろみ)」の説明がありました。麴  
は黒・白・黄色とあり、白は突然変異でできたらしく、黄色は  
日本酒用だそうです。一次仕込み工程は並行複発酵、芋を加え  
て二次仕込み(もろみ)、一度だけ蒸留(昔は木桶だが、今はス  
テンレスが多い)で原酒、→アルコール度は45度以下を確認す  
る検定から樽(3年以上寝かす)や壺(カメ)詰めとなります。



この工場ではラベルを瓶に直接印刷できる技術も見学がで  
きました。最後に試飲室で、地ビール、日本酒、甘酒、ワイン等  
を味わいました。

試飲後は酒泉の杜で昼食、宮崎支部の方と共に雲海酒造の中  
島社長からのビール差し入れを頂きました。この敷地内には国  
道拡幅により移築された旧造り酒屋の建物があり、地元を大切  
にされている会社だと思えます。次の研修場所は飴肥地区です。

日南市飴肥は飴肥藩伊東家5万1千石の城下町、地方におけ  
る小規模な城下町の典型的なものとして侍屋敷の歴史的風致を  
よくあらし、我が国にとってもその価値は高いとして昭和52  
年に重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。飴肥城は  
残されていませんが、大手門が再建されています。

門前の左手にある豫章館は明治2年、旧藩主伊東家が居を移  
した屋敷で、広い敷地には母屋・御数寄屋・雑舎・蔵を、入口  
には薬医門を配しています。庭は枯山水式庭園で、広い空間に  
庭石や石灯籠・庭木などが巧みに配置されています。

少し雨も降っていましたが、大手門通りを下り、旧山本猪平  
家を見学しました。飴肥の実業家であった山本猪平が明治40年  
頃に建築した商家の本宅で、建築当時の状態で残されているよ  
うです。

本町商人通りに出て、旧高橋源次郎邸を見学しました。この  
建物は、国の登録有形文化財となっており、茅葺きであった民  
家が瓦葺へ転換して行く初期の建築として価値が高いそうです。

その後、鶴戸神宮へ参拝する予定でしたが時間が取れず、日  
南海岸ルートで宮崎空港に向います。途中、少しの時間ですが  
青島のビーチを見学しました。



昔は新婚旅行で立ち寄る観光地でしたが、最近では観光客も少  
なく閑散とし、町おこしを考えていたようで、宮崎県建築士会  
松竹会長有志がボランティアで参加し、本日グランドオープン  
の日でした。雨にも関わらず人が多く往来していました。

青島から宮崎空港に着き、お世話になった宮崎支部の皆様と  
お別れをして帰路へ、来年の記念行事に向け成果ある訪問でし  
た。

(記・榎原支部 紀本澄男)



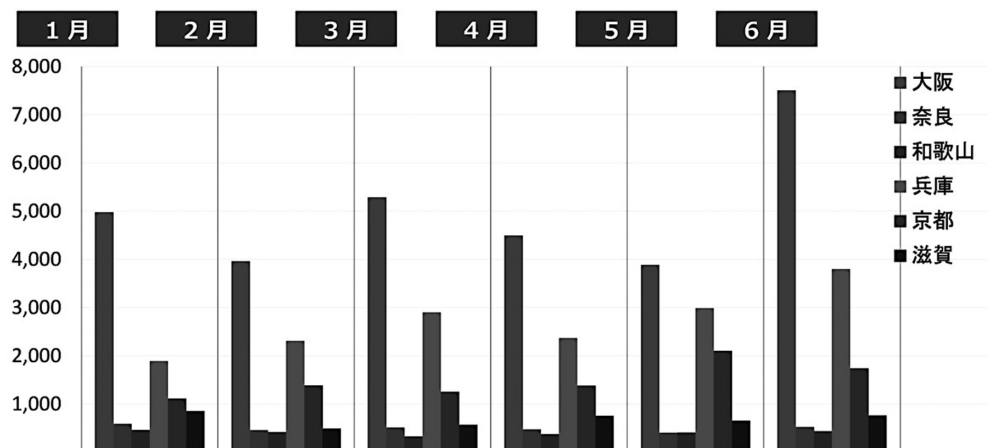
## 最近の住宅着工状況（近畿エリア）

### 新設住宅の暦年戸数

年度	戸数	年度	戸数	年度	戸数
平成26年度	880,470	平成14年度	1,145,553	昭和59年度	1,207,147
平成25年度	987,254	平成12年度	1,213,157	昭和56年度	1,142,732
平成24年度	893,002	平成10年度	1,179,536	昭和53年度	1,498,438
平成22年度	819,020	平成 8年度	1,630,378	昭和50年度	1,427,719
平成20年度	1,039,214	平成 5年度	1,509,787	昭和47年度	1,855,801
平成18年度	1,285,246	平成 2年度	1,665,367	昭和44年度	1,407,740
平成16年度	1,193,038	昭和62年度	1,728,534	昭和41年度	881,430

我が国の、新築住宅の総戸数は昭和30年代の80万戸から昭和42年から100万戸の大台を突破し昭和47年の185万戸を頂点として、長期にわたり100万戸台を達成していましたが、平成21年度には77万5千戸となり、以降80万～90万戸の間を推移しており、昭和40年、41年の建設戸数に近似してきています。近畿エリアの毎月の建設戸数の変化を注視します。

### 2015年前期住宅着工戸数



支出	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
大阪	4,975	3,961	5,285	4,491	3,882	7,501	30,095
奈良	582	452	506	471	400	517	2,928
和歌山	457	412	323	373	403	429	2,397
兵庫	1,888	2,308	2,898	2,364	2,985	3,795	16,238
京都	1,111	1,384	1,254	1,374	2,099	1,738	8,960
滋賀	852	485	566	750	647	757	4,057
合計	9,865	9,002	10,832	9,823	10,416	14,737	64,675
全国総数	67,713	67,552	69,887	75,617	71,720	92,486	382,075

（記・副会長 井上慶治）



## お知らせ

# Information

### ◆教育事業委員会景観デザイン賞部会主催事業

#### 奈良の景観を考えるディベート競技大会開催のお知らせ

景観デザイン賞部会ではこの度ディベート（弁論）大会を通じて、奈良県の景観調和について考える機会を作りたいと思います。奈良県の景観調和について今までにない視点からも意見を抽出し、論点を明確にすることが目的です。このワークショップを行うことでこれからの景観調和のあり方を考えるきっかけにしたいと思います。楽しく刺激的な論戦を企画しておりますので多くの方のご観覧をお待ちしております。

日 時 平成27年9月29日(火) 19時00分～20時30分

場 所 奈良県社会福祉総合センター 研修室A

橿原市大久保町320番11

(近鉄畝傍御陵前駅徒歩3分)

TEL : 0744-29-0111

参加対象者 建築士会員

参加費 無料

定員 30名(当日までに事務局までお申込みください)

※参加者の皆様にはディベート競技の審査にご参加いただきます。論戦には参加できません。

### ◆平成27年度 インテリアプランナー試験案内申込書について

○頒布期間：7月31日(金)～9月18日(金)

(ただし、土曜日・日曜日及び祝祭日は除く)

○頒布場所：(一社)奈良県建築士会 事務局

○頒布価格：1セット 1,080円(消費税込)

○受付期間：8月3日(月)～9月18日(金)

○受付場所：(公財)建築技術教育普及センター本部

○申込方法：受付場所(建築技術教育普及センター本部)へ郵送でお申し込みください。

○試験日

試験日	試験の区分	時間
平成27年 11月15日(日)	学科試験	9:30～11:00 (1時間30分)
	設計製図試験	12:00～18:00 (6時間)

### ◆平成27年度 建築士試験日程のご案内

#### ●一級建築士試験日程

「学科」合格発表	9月8日(火) 予定
「設計製図」試験	10月11日(日)
「設計製図」合格発表	12月17日(木) 予定

#### ●二級建築士試験日程

「学科」合格発表	8月25日(火) 予定
「設計製図」試験	9月13日(日)
「設計製図」合格発表	12月3日(木) 予定

#### ●木造建築士試験日程

「学科」合格発表	9月8日(火) 予定
「設計製図」試験	10月11日(日)
「設計製図」合格発表	12月3日(木) 予定

### ◆平成27年度 設備設計・構造設計一級建築士講習

\*申込書頒布は終了いたしました。

#### ●設備設計一級建築士講習

講義 実施期間	8月26日(水)～9月18日(金) (連続する3日間)
修了 考査	10月18日(日)
修了 発表	12月22日(火) 予定

#### ●構造設計一級建築士講習

講義 実施期間	9月2日(水)～9月29日(火) (連続する2日間)
修了 考査	10月25日(日)
修了 発表	12月22日(火) 予定

※詳細は(公財)建築技術教育普及センターHPをご覧ください。  
(<http://www.jaeic.or.jp/>)

## 新入会員のご紹介 『よろしく』

氏名	支部	〒	住所 (自宅)	勤務先
竹上 侑也	橿原	634-0065	橿原市畝傍町16-1	(有)竹上工務店
西浦 義道	奈良	619-0237	相楽郡精華町光台5-5-3	住友林業ホームテック(株)
近井 千代幸	五條	637-0052	五條市丹原町465	(株)近井工務店

## 編集後記

暑い、暑いと現場ではこの夏は「暑い」よく聞く言葉です。今年の梅雨は東からの梅雨明けで近畿は2日早い梅雨明けであった。今年の夏は、太平洋高気圧が東に寄っているの、南から湿った空気が流れ込んでくるので湿度が高い暑さになっているとお天気お姉さまが言っていましたね。梅雨が明けたら、全国的に暑い日が続く、熱中症で高齢の方が亡くなっているのがニュースでよく聞きます。熱中症とは「暑熱環境で発生する障害の総称」で暑さとは切り離されず暑さの厳しい環境でのスポーツや労働の場で広く注意が呼びかけられ高まっているところが、熱中症が広く知られてきたにも

関わらず年々増加して、死亡例も変わってきている。特に室内での家事における発症、体の発達が未熟な乳幼児や体力の衰えた高齢者の日常生活など、あらゆるところに熱中症のリスクが潜んでいる。取り巻く暑熱環境の厳しさが増している、都市部において「ヒートアイランド現象」や「地球温暖化」の加速が熱中症の増加ではないか、もう少し、一人一人が医学に関心を持ち、知識、予防、対策をしてこの夏の暑い時期をのり越えていき、少しでも病気のことを知り自己で管理をしていかないと増える一方だと思えます。

(記・岐山泰正)

## Calendar

2015年9月

- 8(火) 一級・木造建築士試験(学科) 合格発表(予定)
- 11(金) 青年委員会 大人の工場見学会2015
- 13(日) 二級建築士試験(設計製図)
- 18(金) 平成27年度インテリアプランナー試験 申込書 受付締切日
- 21(月)  敬老の日
- 22(火)  国民の休日
- 23(水)  秋分の日
- 29(火) 景観デザイン賞部会 奈良の景観を考えるディベート競技大会
- 30(水) 住宅相談会(奈良県建築士会館)

## Calendar

2015年10月

- 11(日) 一級・木造建築士試験(設計製図)
- 12(月)  体育の日
- 28(水) 住宅相談会(奈良県建築士会館)
- 30(金) 第58回建築士会全国大会石川大会  
10/31まで

### 士會奈良 通巻603号

平成27年9月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会  
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館  
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333  
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>  
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 洲上 徳光  
編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会  
印刷所 株式会社 明新社

## 重要なのは「今」の合格実績! 合格者数No.1の総合資格学院!!

平成26年 1級建築士 設計製図試験

奈良県の合格者の  
7割以上は、  
当学院の現役受講生でした。

奈良県  
合格者占有率  
**74.3%**

奈良県合格者 35名中、当学院現役受講生 26名

奈良県  
合格者占有率  
ストレート合格者占有率

**No.1**

奈良県ストレート合格者の  
およそ8割は  
当学院現役受講生でした!

奈良県ストレート  
合格者占有率  
**77.8%**

奈良県ストレート合格者18名中、当学院現役受講生14名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。  
※学科・製図ストレート合格者とは、平成26年度1級建築士学科試験に合格し、平成26年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表による、平成26年12月18日現在 >

法定講習 一級・二級 建築士定期講習 / 管理建築士講習  
第一種電気工事士定期講習 / 監理技術者講習 / 宅建登録講習 / 宅建登録実務講習

法定講習サイト(検索)

開講講座 1級・2級 建築士 / 1級・2級 建築施工管理技士 / 1級・2級 土木施工管理技士  
構造設計1級建築士 / 宅地建物取引士 / インテリアコーディネーター



総合資格学院

奈良校

TEL.0742-30-1511

奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

<http://www.shikaku.co.jp>

総合資格

検索

Facebook 「総合資格 fb」で検索!

学院長 岸 隆司